

令和5年度 行政提案テーマ

# 地域活動普及啓発推進 事業について

市民自治部 まちづくり室 まちづくり推進課

# 伊丹市における協働事業の必要性について

## ★協働が必要になる背景



これまでのような行政主導の取り組みだけでは、多様化する地域課題への対応が困難に！  
伊丹市を住みやすいまちとして未来につないでいくためには、市民をはじめとするさまざまな主体と行政との協働は避けられないものになっています。

### 【参考】まちづくり基本条例 前文

(中略)・・・市民も市も、これまでのまちづくりに対する意識を改革し、まちづくりの機軸を行政主導から市民の参画と協働へと大きく転換していかなければなりません。この市民の参画と協働のまちづくりを進めるためには、市民も市も、異なる立場や考え方をお互い理解し合いながら、対話を重ね、合意に向けて努力を積み重ねるという熟議を行うことが重要です。

# 地域活動に関心のある人を活動につなげる

## ★ R3年度に実施した市民アンケート結果（回答1,310件）

回答内容	R3年度	
1. 積極的に参加したい	12件	0.9%
2. 機会があれば参加したい	377件	28.8%
3. 参加したいが難しい	425件	32.4%
4. 参加したいと思わない	430件	32.8%
5. 無回答	66件	5.0%

市民活動に参加したい市民

約6割

参加したいが難しい理由（複数回答可）	R3年度
1. 仕事、家事、育児、介護等で忙しく、時間がないから	249件
2. 体力や健康に自信がないから	172件
3. どのような活動があるか分からないから	64件
4. 地域に知り合いがいないからまたは誘われな いから	53件
5. 責任が重くて大変そうだから	76件
6. 人間関係が負担に感じるから	108件
7. 参加の方法が分からないから	59件
8. 関心や興味が持てないから	15件
9. その他	14件

他の事由で忙しい、体力がないなどの理由が多い一方で、市民活動団体との距離感や関係性がネックとなり、市民活動に参加できていない市民も多い。



関心のある市民を活動につなげるためには、市内で活動している団体の活動状況を把握し、市民と団体とのマッチングを図るとともに、市内事業者や学校園を含めた多様な手段により、活動にアクセスできるよう幅広いチャンネルを確保する必要があります。

# 伊丹市における中間支援の取り組みについて



## ★ 伊丹市立市民まちづくりプラザ

開館：火～日曜9:00～18:00 配置：常勤2人、非常勤1人

現指定管理者 第7期（公募）R2年4月1日～R7年3月31日  
NPO法人シンフォニー 代表理事 山崎 勲

## ★ 役割

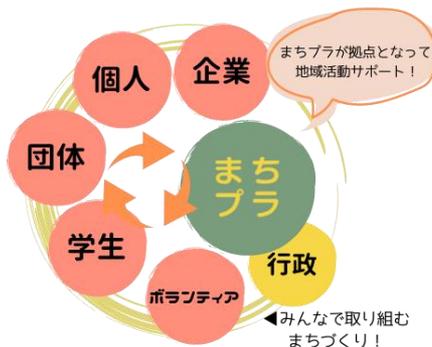
NPOをはじめとする市民活動に取り組む団体をサポートする拠点施設として、団体間の交流促進や各種相談対応、活動に役立つ講座の実施、団体イベント等の情報の提供と発信を行っています。



## ★ 主な取り組み

### 市民活動サポート

市内で活動する団体の情報の収集や発信、助成金やデジタル化、会計処理など市民活動に役立つ講座の実施、活動場所やイベント実施などの相談・助言を行っています。



### 団体交流促進

登録団体同士が情報交換や交流を行うことで、タイアップ事業の実施や相互相談の関係構築ができるよう、地域のコミュニティカフェ型支援の実践として、「まちプラ交流カフェ」を定期開催しています。



### 課題



- ◆ 市民活動団体の活動状況把握と市民まちづくりプラザの結びつけに苦慮。
- ◆ 市民まちづくりプラザのスタッフだけでは、市民活動に関心がある市民の発掘や市民活動団体とのマッチング、コーディネート量に限界がある。

# 中間支援をバックアップする体制の構築と人材育成



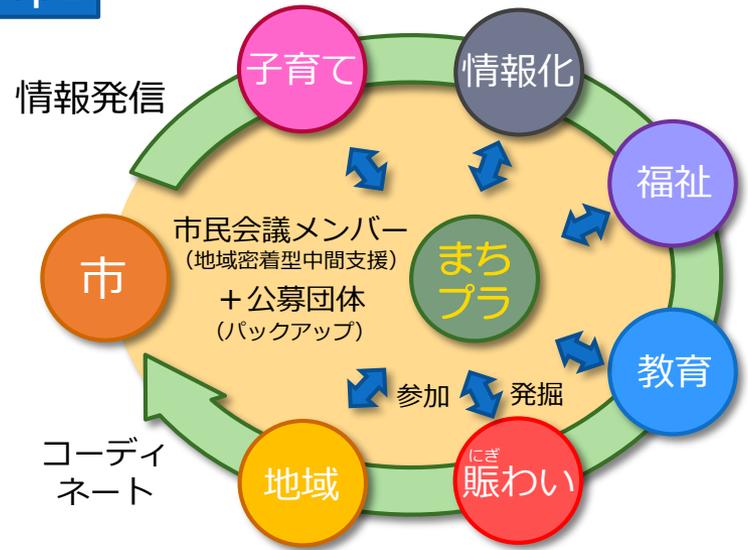
市民まちづくりプラザを中心に、市民により組織された地域密着・ネットワーク型の中間支援体制の構築と地域人材育成の好循環の取り組みを進めたい！

## Step1



中心的役割を担う市民活動団体(公募)と、市や市民まちづくりプラザが協働し、市民活動に関心のある市民や仕掛人に意欲のある市民を集める取り組み(会議、イベント等)を実施。

## Step2



集めた人材を取り込みつつ、団体の発掘や活動情報の収集、事業者や学校園との関係構築に取り組み、市民まちづくりプラザに接続するなど、市民活動の総合的なコーディネートのノウハウがある人材を育成。

## ★ 想定する公募団体

中間支援に関心のある市内NPO法人またはグループ、近隣他市で中間支援実績のあるNPO法人